

東京視察日記(その1): 東京の駐車対策の状況 (社員N)

とっても遅い報告となりますが、7月初旬の東京視察について報告します。視察の目的は、

1. 東京の交通事情を肌で感じてくる
2. 死ぬまでに一度は渋谷に行きたかった
3. 本場のもんじゃ焼きを食べたかった

等々、たくさんありますが、今回は、このうち東京の駐車対策について書き留めることにします。

東京では関係機関の連携のもと、様々な駐車対策が実施されています。その一つに、東京都渋谷区の公園通りでは、「スムーズシブヤ」の社会実験を踏まえて、「荷捌き駐車スペース」が整備されました。

具体的には区役所に向けた上り坂の全長約300メートルが実施区間で、幅9メートルの道路の車線部分を7メートルに縮小し、余った2メートルの部分の一部を歩道拡幅にあて、一部に荷さばきスペース(全7ヶ所)を設けています。(写真1、写真2)



写真1 荷捌き駐車スペース



写真2 荷捌き駐車スペースの表示

現場をみると感動しました。車道幅員が狭められて、物理的に路上駐車できない空間となっていました。

また、駐車枠内ではちゃんと荷捌きが行われていました。(写真3)

駐車スペースには一般車の駐車はなかったです。やはり、東京の方はマナーがよろしいようです。



写真3 荷捌き状況

気になった点は、駐車スペースの料金体系(有料なのか、無料なのか)、運用管理(道路管理者なのか、商店街なのか)等々ありますがおいおい調べことにします。

この対策は公園通りにのみ整備されていて、となりの通りでは、とんでもなく路上駐車が多かったです。(写真4)



写真4 路上駐車状況

渋谷以外の駐車対策も見てきましたのでご紹介致します。

(写真5)は「ガラガラ舗装」と呼ばれているものです。交差点付近の車道を赤色で視覚的に路上駐車を抑制する対策です。



写真5 ガラガラ舗装

(写真6)及び(写真7)は新宿のパーキングチケット利用した荷捌き駐車スペースです(たぶん、実験だと思えます)。



写真6 荷捌きスペース



写真7 料金体系

以上、東京の駐車対策事情の紹介を終わります。

感想としては、公園通りの駐車対策は成功した例としていえるでしょう。でも、線的な対策であり(となり道路は路上駐車でびっしり)、面的で総合的な対策(様々な施策)が必要かなと思いました(当然、渋谷区でも考えていることと思いますが...)

やはり、路上駐車問題は、ポイント的な対策ではなく、まとまりのある地区(道路網や土地利用等)での対策が必要だと思います(駐車場整備、駐車しにくい道路、荷捌き駐車スペース、ガラガラ舗装等)

当然、このような対策は行政だけでできるものでなく(ハード的にできますが)、地元と連携協力、役割部分担といったしくみづくりが大切だと思います。

時間の要する対策ではありますが、大阪ではぜひとも実現してほしいものです。

今回は、東京の再開発事情をご紹介します。